

NEWS RELEASE

令和6年6月7日

お客さまへ

株式会社 栃木銀行
取締役頭取 黒本 淳之介

「古着 de ワクチンまごころプロジェクト」を通じた 世界の子どもにポリオワクチンを届ける取組みの実施について

株式会社 栃木銀行（取締役頭取 黒本 淳之介）は、令和4年4月より実施してきた女性職員の制服着用の段階的廃止により不要になった制服について、日本リユースシステム株式会社（以下「NRS」といいます）が運営する「古着 de ワクチンまごころプロジェクト」への参加を通じて、発展途上国の子どもたちに向けたポリオワクチンの寄付に繋がる取組みを実施しましたので、お知らせいたします。

この取組みを通じて寄付した制服は、約490名分のポリオワクチンとなり、ミャンマーやラオスなどに届けられ、世界の子どもたちの生命救済の一助となるとともに、資源の再利用、障がい者やストリートチルドレンなどへの雇用創出などにも繋がります。また、社会貢献の意義を内省し、自律的な人材を育成することを目的として、制服の寄付にかかる活動については若手職員が中心となって実施しました。

当行は、SDGs 達成に向け、今後も積極的に地域貢献活動に取り組むとともに、公共的使命をもつ職員の育成を通じて、環境や社会課題に考慮した持続可能な社会の創造に貢献してまいります。

記

1. 「古着 de ワクチンまごころプロジェクト」とは

NRS が運営および提供するサービス「古着 de ワクチン」のパッケージプランで、NRS と「認定 NPO 法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会」（以下「JCV」といいます）が連携して実施している事業です。不要品として回収した衣類等をカンボジアなどの発展途上国に輸出し、選別や販売、再輸出などを行っています。回収した衣類等は、一口につき5名分のポリオワクチンとして、JCV を通じてミャンマーなどの発展途上国に寄付される仕組みとなっています。この過程では、小さな命の救済の一助となるポリオワクチンの供給のみならず、リユースによる資源の有効活用や発展途上国のビジネス・雇用の創出などにも繋がり、サステナブルな事業であります。

NEWS RELEASE

2. 制服の寄付について

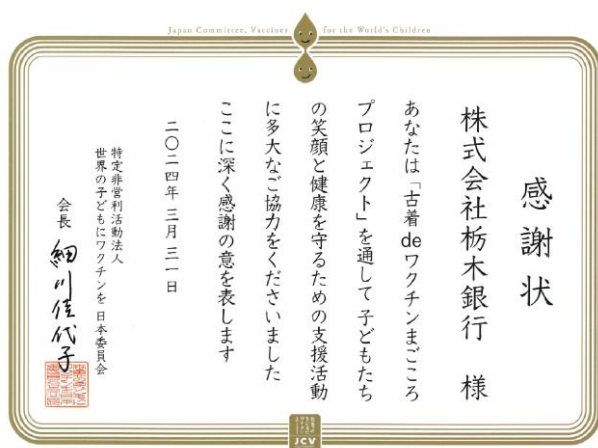
不要となった制服は98口の寄付となり、490名分のポリオワクチンとなって発展途上国に送られることになりました。(98口×5名分=490名分のポリオワクチン)

なお、今後回収予定の制服についても寄付するとともに、各々の職員の不要となった私服等についても寄付活動を実施し、本件と合算して1,100名分のポリオワクチンの寄付となることを目指して取組みいたします。

<参考>

ポリオについて

ポリオは、日本では「脊髓性小児まひ」とも呼ばれ、手足にまひを引き起こすウィルス性の病気です。明確な治療方法はありませんが、ワクチン接種により発症を予防することができますとされています。日本では過去には大流行したものの、ワクチン接種の徹底により、1980年の1例を最後に新たな患者は出ておりません。しかしながら、南西アジアやアフリカなど発展途上国では未だ脅威となっております。



JCV からの感謝状



NRS による「古着 de ワクチン」
SDG s サポーター企業の認定書

NEWS RELEASE



ミャンマーの子どもたちによる
ワクチン寄付にかかるお礼



寄付するために梱包作業した制服の一部



制服を寄付するために梱包作業を行った入行2年目の職員

以 上